

大阪市は国立国際美術館がある中之島4丁目地区に、平成29年度の開館をめざして近代美術館の整備を進めています。将来、ふたつの美術館が隣り合えば、相互に協力して多彩なアートイベントを行ったり、展覧会を一緒に開催することも可能となるでしょう。本展では、未来の中之島のアートシーンを一部先取りし、2館のコレクションから選りすぐりの名品をご紹介します。

2館の「ハイライト」が一堂に

大阪市立近代美術館のコレクションからは、モディリアーニ、ローランサンをはじめとする1920～30年代のパリの美術、ロスコ、ステラなど戦後アメリカの美術に加え、コレクションの目玉である佐伯祐三作品を展示。国立国際美術館のコレクションからは、ピカソ、デュシャン、ウォーホルなど20世紀を代表する作家の作品や、マルレーネ・デュマスや奈良美智など国立国際美術館が積極的に収集している現代絵画が展示されます。2館のコレクションのハイライトともいべき作品群を一度に堪能できる絶好の機会です。

「中之島」で文化の薫りを楽しもう

一昨年開催された「水都大阪2009」以来、中之島は水都・大阪のシンボルエリアとしてますます注目されています。大阪市中央公会堂や大阪府立中之島図書館など歴史ある建築物をはじめ、世界に誇るコレクションを有する大阪市立東洋陶磁美術館など多数の文化施設が集積するほか、近年ではオフィスタワー等の建設も進むなど、目覚ましい発展を遂げています。芸術の秋、中之島の散策がてら国立国際美術館にお立ち寄りいただき、「都心で文化の薫り高いひとときを楽しめる展覧会」——『中之島コレクションズ 大阪市立近代美術館&国立国際美術館』をどうぞご鑑賞ください。



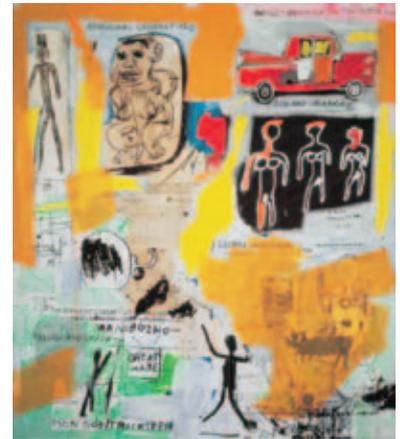
ヴァシリー・カンディンスキー 《絵の中の絵》 1929年
国立国際美術館蔵



リュック・タイムンス 《教会》 2006年
国立国際美術館蔵
©Luc Tuymans Courtesy of WAKO WORKS OF ART



佐伯祐三 《郵便配達夫》 1928年
大阪市立近代美術館建設準備室蔵



ジャン＝ミシェル・バスキア 《無題》 1984年
大阪市立近代美術館建設準備室蔵
©The Estate of Jean-Michel Basquiat/ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2011

ギャラリー トーク

展覧会の趣旨や主な出品作品・作家のエピソードなどについて、1時間程度、学芸員が説明します。じっくりと鑑賞したい方におすすめです。

12月4日(日) 14:00～

■集合場所 B2階展示場入口

■費用 無料

※ただし、展覧会の観覧券は必要です。

※当日13:30から聴講用ワイヤレス受信機を貸し出します。(先着90名)



キノコの蠟製模型

◆ 学芸員のおススメコレクション ◆

大阪市立自然史博物館 きのこと模型の歴史を語るレプリカ

自然史博物館は展示の中でたくさんの精巧な模型を使っています。特に、キノコは通常の標本では生きた時の姿がイメージしにくいことや、光による褪色や虫の害などから常設展では模型を使った展示を多用しています。国内の蠟製模型の技術は大正から昭和初期にかけて、京都の教材メーカーなどで確立したものです。この模型、古くは石膏や寒天を用いて実物から型取りをして、蠟、蜜蝋などを流し、細工・彩色を施してできた精巧なものです。ここに展示しているものはその技術を戦後に復刻して出来たごく初期の模型、勸の自然科学博物館時代に納入された模型です。(大阪市立自然史博物館学芸員 佐久間大輔)

※今回紹介した模型は、常設展示室2階毒キノコの特設コーナーに展示中です。

大阪市立自然史博物館 [住所] 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23

[TEL] 06-6697-6221 [FAX] 06-6697-6225 [アクセス] 地下鉄御堂筋線「長居」3号出口から東へ約800m [ホームページ] <http://www.mus-nh.city.osaka.jp>

